

コベルコ建機

適用範囲		モデル名	SK10SR-2 後方小旋回	SK17SR-3 後方小旋回	SK20SR-5 後方小旋回	SK27SR-5 後方小旋回	SK30SRST-5 後方小旋回	
		適用号機	PA05001~	PU08001~	PM10609~	PV33453~	PD00101~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	検査基準値					
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドルリング	min <sup>-1</sup>	2160±25	2350±50	2340±50	2340±50	2550±25
		ローアイドルリング (冷却水温) (作動油温)	min <sup>-1</sup> (°C) (°C)	1350±25 (60~90) (45~55)	1350±50 (60~90) (50~60)	1170±50 (60~90) (50~60)	1170±50 (60~90) (50~60)	1400±25 (—) (45~55)
	弁すき間	mm	0.2	0.25	0.2	0.2	0.2	
	吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間	mm	0.2	0.25	0.2	0.2	0.2	
		(測定条件)	( )	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	
		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	MPa	3.20	2.7	3.16	3.16	3.16
		(冷却水温) (回転速度)	kg/cm <sup>2</sup> (°C) (min <sup>-1</sup> )	33 (60~90) (250)	28 (20~30) (280)	32 (60~90) (—)	32 (60~90) (—)	32 (—) (250)
燃料装置	燃料ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa	12.3	13.7	19.6	19.6	19.6	
		kg/cm <sup>2</sup>	125	140	200	200	200	
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	7~10	7~10	7~10	7~10	7~10	
		(測定位置・条件 (kgとNの両方で表記))	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	
走行性能	最高速度 ゴム 鉄	S	13.7	15.7	18.8	18.8	20.8	
		(測定方法・条件)	クローラ5回転 高速モード 図-01	クローラ5回転 高速モード 図-01	クローラ5回転 高速モード 図-01	クローラ5回転 高速モード 図-01	クローラ5回転 高速モード 図-01	
走行装置	履帯 (クローラ ベルト)	張り(たわみ量)	mm	60~70	45~50	80~90	80~90	70~80
		(測定方法・条件 (図面番号表示))		[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]
	張り(たわみ量)	mm	—	90~95	115~130	115~130	115~130	
	(測定方法・条件 (図面番号表示))		—	[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]	
	リンクピッチの伸び	mm	—	90.0	101.6	101.6	101.6	
(測定方法・ 条件)		—	[1リンクピン 間距離]	[1リンクピン 間距離]	[1リンクピン 間距離]	[1リンクピン 間距離]		
履板取付けボルト 締付けトルク	N・m kg・m	—	—	—	—	—		
(測定方法・ 条件)		—	—	—	—	—		

★印：新車基準値を表す。

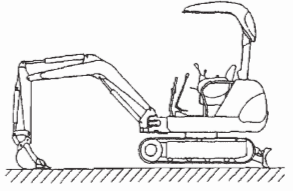
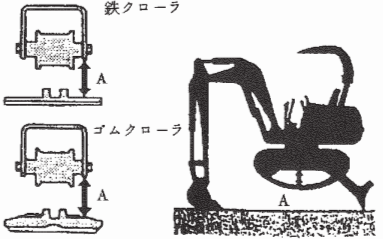
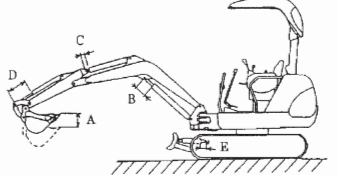
SK30SR-5 後方小旋回	SK35SR-5 後方小旋回	SK40SR-5 後方小旋回	SK50SR-5 後方小旋回	SK20UR-2 超小旋回	SK30UR-5 超小旋回	SK38UR 超小旋回	SK50UR-5 超小旋回
PW46519~	PX21105~	PH06609~	PJ09807~	PB00801~	PR09001~	PQ00101~	YJ09501~
検査基準値							
2550±25	2550±25	2550±25	2550±25	2350±50	2435±50	2435±50	2350±50
1200±25 (60~90) (50~60)	1200±25 (60~90) (50~60)	1150±25 (60~90) (50~60)	1150±25 (60~90) (50~60)	1350±50 (60~90) (50~60)	1225±50 (60~90) (50~60)	1225±50 (60~90) (50~60)	1025±50 (60~90) (50~60)
0.2	0.2	0.2	0.2	0.25	0.2	0.2	0.2
0.2	0.2	0.2	0.2	0.25	0.2	0.2	0.2
(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
3.43	3.43	3.40	3.40	2.70	3.00	3.00	3.43
35 (—) (250)	35 (—) (250)	35 (—) (250)	35 (—) (250)	28 (20~30) (280)	30 (—) (250)	30 (—) (250)	35 (—) (250)
19.6	19.6	19.6	19.6	13.7	19.6	19.6	19.6
200	200	200	200	140	200	200	200
7~10	7~10	7~10	7~10	10	7~10	7~10	7~10
ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)	ウオータポンプ S クランクプーリ 10kg(98N)
18.9 19.3 クローラ5回転 高速モード 図-01	18.9 19.3 クローラ5回転 高速モード 図-01	21.9 20.5 クローラ5回転 高速モード 図-01	23.5 21.9 クローラ5回転 高速モード 図-01	17.3 17.8 クローラ5回転 高速モード 図-01	17.7 18.2 クローラ5回転 高速モード 図-01	21.4 21.9 クローラ5回転 高速モード 図-01	22.5 22.4 クローラ5回転 高速モード 図-01
70~80	70~80	85~95	85~95	55~65	60~70	70~80	80~90
[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]
115~130	115~130	130~150	130~150	110~120	118~128	115~130	160~180
[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]	[図-02]
101.6	101.6	135.0	135.0	101.6	101.6	101.6	135.0
[1リンクピン 間距離]	[1リンクピン 間距離]	[1リンクピン 間距離]	[1リンクピン 間距離]	[1リンクピン 間距離]	[1リンクピン 間距離]	[1リンクピン 間距離]	[1リンクピン 間距離]
—	—	216.0 22 トルクレンチ	216.0 22 トルクレンチ	—	—	—	216.0 22 トルクレンチ

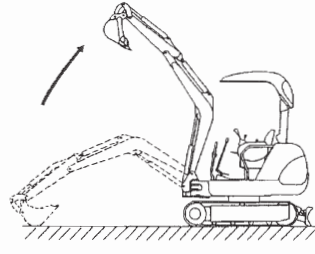
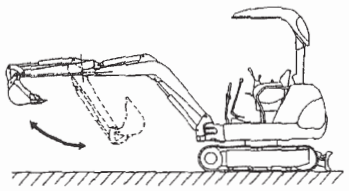
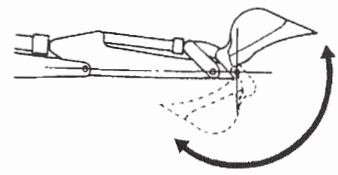
コベルコ建機

適用範囲		モデル名		SK10SR-2	SK17SR-3	SK20SR-5	SK27SR-5	SK30SRST-5
		適用号機		PA05001~	PU08001~	PM10609~	PV33453~	PD00101~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	作業機 自然降下	バケット先端位置 (測定時間) (作動油温) (作業装置姿勢) (図面番号表示)	mm (min) (°C)	222 ( 10 ) (45~55)	140 ( 10 ) (50~60)	150 ( 12 ) (50~60)	150 ( 10 ) (50~60)	125 ( 10 ) (45~55)
		〔図-03〕	〔図-03〕	〔図-03〕	〔図-03〕	〔図-03〕		
	シリンダ 自然伸縮	ブームシリンダ (標準/フル) (作業装置姿勢) (図面番号表示)	mm	18 〔図-03〕	10 〔図-03〕	12 〔図-03〕	12 〔図-03〕	10 〔図-03〕
		アームシリンダ (標準/フル) (作業装置姿勢) (図面番号表示)	mm	12 〔図-03〕	7 〔図-03〕	5 〔図-03〕	5 〔図-03〕	4 〔図-03〕
		バケットシリンダ (作業装置姿勢) (図面番号表示)	mm	3.6 〔図-03〕	4 〔図-03〕	3 〔図-03〕	3 〔図-03〕	2 〔図-03〕
		ブレードシリンダ (作業装置姿勢) (図面番号表示) (作動油温)	mm (°C)	3.6 〔図-03〕 (45~55)	5 〔図-03〕 (50~60)	3 〔図-03〕 (50~60)	3 〔図-03〕 (50~60)	2 〔図-03〕 (45~55)
	作業機速度	ブーム上げ (作業装置姿勢) (図面番号表示)	S	2.5±0.4 〔図-04〕	2.3±0.3 〔図-04〕	2.2±0.4 〔図-04〕	2.5±0.4 〔図-04〕	2.2±0.4 〔図-04〕
			〔図-04〕	〔図-04〕	〔図-04〕	〔図-04〕	〔図-04〕	
		アームシリンダ伸ばし 縮め	S	3.7±0.5 〔図-05〕	2.7±0.4 〔図-05〕	2.4±0.4 〔図-05〕	2.9±0.4 〔図-05〕	2.6±0.4 〔図-05〕
			〔図-05〕	〔図-05〕	〔図-05〕	〔図-05〕	〔図-05〕	
バケットシリンダ伸ばし 縮め		S	2.5±0.4 〔図-06〕	2.7±0.4 〔図-06〕	2.4±0.4 〔図-06〕	2.8±0.4 〔図-06〕	2.5±0.4 〔図-06〕	
		〔図-06〕	〔図-06〕	〔図-06〕	〔図-06〕	〔図-06〕		
性能測定条件 (荷重・設定モード等)	S	1.8±0.3 〔無負荷〕	1.8±0.4 〔無負荷〕	1.4±0.4 〔無負荷〕	1.9±0.4 〔無負荷〕	1.7±0.4 〔無負荷〕		
	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕			
油圧装置	油圧回路 設定圧力 (性能測定条件) (設定モード等)	MPa	20.6	21.6	23.0	23.0	23.0	
		kg/cm <sup>2</sup>	210	220	235	235	235	
動力伝達装置	旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	N・m	—	—	—	—	—	
		kg・m	—	—	—	—	—	
	インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N・m	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	
		kg・m	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	
旋回減速機の 取付けボルト 締付け	N・m	65.7	115.0	115.0	115.0	115.0		
	kg・m	6.7	11.7	11.7	11.7	11.7		
旋回減速機取付けボルト の締付けトルク	N・m	—	—	—	—	—		
	kg・m	—	—	—	—	—		

★印：新車基準値を表す。

SK30SR-5	SK35SR-5	SK40SR-5	SK50SR-5	SK20UR-2	SK30UR-5	SK38UR	SK50UR-5
後方小旋回	後方小旋回	後方小旋回	後方小旋回	超小旋回	超小旋回	超小旋回	超小旋回
PW46519~	PX21105~	PH06609~	PJ09807~	PB00801~	PR09001~	PQ00101~	YJ09501~
検査基準値							
150 ( 10 ) (50~60) 〔図-03〕	150 ( 10 ) (50~60) 〔図-03〕	150 ( 10 ) (50~60) 〔図-03〕	150 ( 10 ) (50~60) 〔図-03〕	192 ( 10 ) (50~60) 〔図-03〕	240 ( 10 ) (50~60) 〔図-03〕	240 ( 10 ) (50~60) 〔図-03〕	102 ( 10 ) (50~60) 〔図-03〕
24 〔図-03〕	24 〔図-03〕	12 〔図-03〕	12 〔図-03〕	12 〔図-03〕	14 〔図-03〕	14 〔図-03〕	6 〔図-03〕
10 〔図-03〕	10 〔図-03〕	6 〔図-03〕	6 〔図-03〕	6 〔図-03〕	12 〔図-03〕	12 〔図-03〕	12 〔図-03〕
6 〔図-03〕	6 〔図-03〕	— 〔図-03〕	— 〔図-03〕	4 〔図-03〕	6 〔図-03〕	6 〔図-03〕	6 〔図-03〕
6 〔図-03〕	6 〔図-03〕	6 〔図-03〕	6 〔図-03〕	5 〔図-03〕	6 〔図-03〕	6 〔図-03〕	6 〔図-03〕
(50~60)	(50~60)	(50~60)	(50~60)	(50~60)	(50~60)	(50~60)	( 50 )
2.8±0.4 〔図-04〕	2.8±0.4 〔図-04〕	2.3±0.4 〔図-04〕	3.0±0.4 〔図-04〕	3.9±0.6 〔図-04〕	3.3±0.5 〔図-04〕	3.6±0.5 〔図-04〕	2.4±0.3 〔図-04〕
2.8±0.4 1.6±0.4	2.8±0.4 1.6±0.4	2.8±0.4 2.1±0.4	3.3±0.4 2.5±0.4	2.6±0.4 3.2±0.5	3.2±0.5 3.4±0.5	3.2±0.5 3.4±0.5	3.0±0.3 3.7±0.3
〔図-05〕	〔図-05〕	〔図-05〕	〔図-05〕	〔図-05〕	〔図-05〕	〔図-05〕	〔図-05〕
2.5±0.4 1.5±0.4	2.5±0.4 1.5±0.4	2.8±0.4 1.8±0.4	2.8±0.4 1.8±0.4	3.0±0.4 2.2±0.3	3.4±0.5 2.6±0.5	3.4±0.5 2.6±0.5	3.0±0.3 2.3±0.3
〔図-06〕	〔図-06〕	〔図-06〕	〔図-06〕	〔図-06〕	〔図-06〕	〔図-06〕	〔図-06〕
〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕
23.0 235 〔Eng・Hi7停ル〕	23.0 235 〔Eng・Hi7停ル〕	23.0 235 〔Eng・Hi7停ル〕	23.0 235 〔Eng・Hi7停ル〕	22.6 230 〔Eng・Hi7停ル〕	22.6 230 〔Eng・Hi7停ル〕	22.6 230 〔Eng・Hi7停ル〕	22.6 230 〔Eng・Hi7停ル〕
—	—	—	—	—	—	—	—
115.0	115.0	181.0	181.0	115.0	115.0	115.0	181.0
11.7	11.7	18.4	18.4	11.7	11.7	11.7	18.5
115.0	115.0	216.6	216.6	115.0	115.0	115.0	279.5
11.7	11.7	22.1	22.1	11.7	11.7	11.7	28.5
—	—	—	—	—	—	—	—

<p><b>走行速度 (5 回転)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン 定格回転</li> <li>・作動油温 50℃ ~ 60℃</li> <li>・測定姿勢 ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。</li> <li>・クローラシューを回転させ、2 回転目より数え、5 回転するまでに要する時間を測定する。(等速回転後の測定)</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">図-01</p>
<p><b>クローラの張り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。</li> </ul> <p>クローラフレーム中央部におけるフレーム下面とクローラシュー上面とのすきまを測定する。</p> <p>注) ゴムクローラの場合は、“M” マークの印された継目部を上部中央にして測定すること。</p>	 <p style="text-align: center;">図-02</p>
<p><b>シリンダ自然降下量</b> ブーム、アーム、バケット、ドーザ、バスケット先端</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン 停止</li> <li>・作動油温 50℃ ~ 60℃</li> <li>・測定姿勢 ドーザ、アームシリンダは最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、ブームフットピンとバケットピンの高さを同一にする。</li> <li>・測定姿勢を 10 分間保ち、その間に变化したロッドの長さ、及びバケット先端での変化量を測定する。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">図-03</p>

<p><b>ブームシリンダ速度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン 定格回転</li> <li>・作動油温 50℃ ~ 60℃</li> <li>・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とする。ドーザを設地させる。</li> <li>・バケットの設置位置 (最高上げ位置) から、最高上げ位置 (地上設置位置) までの所要時間を測定する。(クッション作動時間は含まない)</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">図-04</p>
<p><b>アームシリンダ速度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン 定格回転</li> <li>・作動油温 50℃ ~ 60℃</li> <li>・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、アームを水平にする。ドーザを設地させる。</li> <li>・アームシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">図-05</p>
<p><b>バケットシリンダ速度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン 定格運転</li> <li>・作動油温 50℃ ~ 60℃</li> <li>・測定姿勢 アームシリンダを最縮小にしてアームを水平にする。ドーザを設地させる。</li> <li>・バケットシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">図-06</p>

適用範囲		モデル名	SK10SR-2 後方小旋回	SK17SR-3 後方小旋回	SK20SR-5 後方小旋回	SK27SR-5 後方小旋回	SK30SRST-5 後方小旋回	
		適用号機	PA05001~	PU08001~	PM10609~	PV33453~	PD00101~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	11.6~15.6 図-07	13.3~15.0 図-07	13.4~14.8 図-07	13.4~14.8 図-07	13.3~15.0 図-07

適用範囲		モデル名	SK30SR-5 後方小旋回	SK35SR-5 後方小旋回	SK40SR-5 後方小旋回	SK50SR-5 後方小旋回	SK20UR-2 後方小旋回	
		適用号機	PW46519~	PX21105~	PH06609~	PJ09807~	PB00801~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	13.1~14.5 図-07	13.1~14.5 図-07	13.2~14.6 図-07	13.2~14.6 図-07	12.8~14.3 図-07

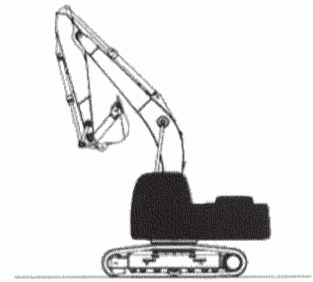
適用範囲		モデル名	SK30UR-5 後方小旋回	SK38UR 後方小旋回	SK50UR-5 後方小旋回	SK75UR-5 後方小旋回	SK75SR-3 後方小旋回	
		適用号機	PR09001~	PQ00101~	YJ09501~	YR08501~	YT25001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	12.7~14.1 図-07	12.7~14.1 図-07	12.7~13.9 図-07	4.9~5.9 図-07	4.9~5.9 図-07

適用範囲		モデル名	SK75SR+ 後方超小旋回	SK125SR 後方超小旋回	SK130SR+ 後方超小旋回	SK130UR-2 超小旋回	SK135SR-2 後方超小旋回	
		適用号機	YT18001~	YV05501~	YV05501~	YX02501~	YY15001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	4.9~5.9 図-07	4.9~5.9 図-07	5.0~6.2 図-07	5.1~6.3 図-07	5.0~6.2 図-07

適用範囲		モデル名	SK200-8	SK225SR 後方超小旋回	SK235SR-2 後方超小旋回	SK250-8	
		適用号機	YN56001~	YB03501~	YF02501~	LQ07001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	4.2~5.4 図-07	4.1~5.4 図-07	4.6~5.8 図-07	5.0~6.2 図-07

旋回速度

- ・エンジン ; ハイアイドル
- ・作動油温 ; 50±5℃
- ・作業モード ; S又はMモード
- ・クッションストロークを除く作動時間
- ・バケット空荷で平坦地
- ・ブームシリンダ/アームシリンダ/バケットシリンダ最伸
- ・方法  
旋回レバーをフルストローク操作して旋回する。  
一回転助走後の二回転に要する時間を測定し、  
一回転当りの所要時間を算出する。



旋回速度測定姿勢（最小リーチ）

図-07